



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社T&K TOKA

コード番号 4636 URL https://www.tk-toka.co.jp/

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 至克

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 北條 実 (TEL) 03-3963-0511

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 24,732 | 5.2 | 380 | △67.7 | 657 | △55.9 | 479 | △54.6 |
| 2018年3月期第2四半期 | 23,520 | 0.8 | 1,178 | △2.1 | 1,492 | 8.8 | 1,055 | 10.0 |

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △408百万円(-%) 2018年3月期第2四半期 1,217百万円(-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|---------------|-----------------|--|----------------------------|--|
| | 円 銭 | | 円 銭 | |
| 2019年3月期第2四半期 | 20.41 | | 20.29 | |
| 2018年3月期第2四半期 | 44.95 | | 44.71 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 65,832 | 44,612 | 67.2 |
| 2018年3月期 | 66,675 | 45,420 | 67.5 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 44,211百万円 2018年3月期 44,995百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 17.00 | — | 17.00 | 34.00 |
| 2019年3月期 | — | 17.00 | — | — | — |
| 2019年3月期(予想) | — | — | — | 17.00 | 34.00 |

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 50,910 | 6.2 | 1,140 | △40.3 | 1,870 | △29.7 | 1,260 | △38.5 | 53.60 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年3月期2Q | 25,055,440株 | 2018年3月期 | 25,055,440株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期2Q | 1,550,105株 | 2018年3月期 | 1,550,104株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年3月期2Q | 23,505,336株 | 2018年3月期2Q | 23,487,622株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、わが国経済は政府や日本銀行の各種政策の効果により雇用情勢や企業業績の改善が続くなか、個人消費は持ち直し、景気も緩やかに回復しました。また、アジア地域につきましては、中国では各種政策の効果により景気は持ち直しの動きがみられ、当面はこの動きが続くものと見込まれております。その他アジア地域についての景気も緩やかに回復しました。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましては、オンデマンド印刷、デジタル化の進展により、出版・商業印刷は、国内・海外ともに縮小傾向にあり、引き続き厳しい状況が予想されます。

特殊UVインキの関係する液晶パネル関連市場は、液晶パネルの価格は下げ止まりの兆しを見せるものの、ディスプレイ材料のコストダウン要求は変わらず強く、販売環境は依然として厳しい状況となっております。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT&K (Technology and Kindness=技術と真心) の精神に則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の当連結累計期間の売上高は、前連結会計年度における連結子会社の増加により平版インキの販売が増加、一般UVインキ及び特殊UVインキの販売が増加したことにより、売上高は247億32百万円（前年同期比5.2%増）となりました。利益面におきましては、原材料価格の上昇及び販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は3億80百万円（前年同期比67.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法による投資利益2億8百万円、固定資産受贈益1億23百万円、法人税等1億56百万円を計上したことにより、4億79百万円（前年同期比54.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引消去前の金額によっております。

① 印刷インキ

売上高は247億29百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益（営業利益）は3億72百万円（前年同期比68.1%減）となりました。

② その他

売上高は24百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益（営業利益）は3百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて8億43百万円減少し、658億32百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて、現金及び預金が8億69百万円増加したものの、流動資産（その他）が4億74百万円、有形固定資産が4億57百万円、無形固定資産が4億44百万円減少したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて34百万円減少し、212億19百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて、短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が3億25百万円、流動負債（その他）が2億48百万円、長期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて8億8百万円減少し、446億12百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて為替換算調整勘定が7億64百万円、その他有価証券評価差額金が1億54百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、2018年8月3日に公表いたしました2019年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第2四半期連結会計期間において、T&K TOKA U. S. A., INC. を新規設立したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,895 | 8,764 |
| 受取手形及び売掛金 | 15,996 | 15,816 |
| 有価証券 | 0 | 0 |
| 商品及び製品 | 4,354 | 4,173 |
| 仕掛品 | 496 | 472 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,340 | 2,484 |
| その他 | 719 | 244 |
| 貸倒引当金 | △61 | △59 |
| 流動資産合計 | 31,741 | 31,896 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 22,491 | 22,585 |
| 機械装置及び運搬具 | 19,696 | 20,025 |
| 土地 | 7,068 | 7,008 |
| その他 | 4,824 | 4,623 |
| 減価償却累計額 | △30,963 | △31,580 |
| 有形固定資産合計 | 23,118 | 22,661 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 510 | 178 |
| その他 | 1,130 | 1,017 |
| 無形固定資産合計 | 1,640 | 1,195 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,279 | 9,093 |
| 退職給付に係る資産 | 287 | 344 |
| その他 | 622 | 656 |
| 貸倒引当金 | △15 | △16 |
| 投資その他の資産合計 | 10,175 | 10,078 |
| 固定資産合計 | 34,934 | 33,935 |
| 資産合計 | 66,675 | 65,832 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,335 | 8,010 |
| 電子記録債務 | 2,665 | 2,660 |
| 短期借入金 | 2,094 | 3,028 |
| 役員賞与引当金 | 14 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 656 | 797 |
| 1年内償還予定の社債 | 8 | 4 |
| 未払法人税等 | 203 | 184 |
| 賞与引当金 | 694 | 668 |
| その他 | 1,684 | 1,436 |
| 流動負債合計 | 16,356 | 16,792 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,986 | 2,502 |
| 退職給付に係る負債 | 655 | 665 |
| その他の引当金 | 20 | 21 |
| 資産除去債務 | 107 | 108 |
| その他 | 1,127 | 1,129 |
| 固定負債合計 | 4,897 | 4,427 |
| 負債合計 | 21,254 | 21,219 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,080 | 2,080 |
| 資本剰余金 | 2,079 | 2,079 |
| 利益剰余金 | 42,155 | 42,236 |
| 自己株式 | △1,383 | △1,383 |
| 株主資本合計 | 44,932 | 45,012 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 965 | 811 |
| 為替換算調整勘定 | △561 | △1,325 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △340 | △286 |
| その他の包括利益累計額合計 | 63 | △801 |
| 新株予約権 | 107 | 121 |
| 非支配株主持分 | 317 | 280 |
| 純資産合計 | 45,420 | 44,612 |
| 負債純資産合計 | 66,675 | 65,832 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 23,520 | 24,732 |
| 売上原価 | 18,769 | 20,114 |
| 売上総利益 | 4,751 | 4,618 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,573 | 4,237 |
| 営業利益 | 1,178 | 380 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 24 | 28 |
| 受取配当金 | 46 | 52 |
| 持分法による投資利益 | 225 | 208 |
| 為替差益 | — | 7 |
| 金利スワップ評価益 | 1 | 1 |
| その他 | 59 | 13 |
| 営業外収益合計 | 356 | 312 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11 | 23 |
| 為替差損 | 25 | — |
| その他 | 4 | 10 |
| 営業外費用合計 | 42 | 34 |
| 経常利益 | 1,492 | 657 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | 0 |
| 国庫補助金 | 17 | 14 |
| 固定資産受贈益 | — | 123 |
| その他 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 22 | 137 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1 | 0 |
| 固定資産除却損 | 9 | 70 |
| 投資有価証券評価損 | 24 | — |
| 為替差損 | 46 | 89 |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 82 | 159 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,432 | 636 |
| 法人税等 | 351 | 156 |
| 四半期純利益 | 1,081 | 479 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 25 | △0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,055 | 479 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,081 | 479 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 168 | △154 |
| 為替換算調整勘定 | △62 | △579 |
| 退職給付に係る調整額 | 74 | 56 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △44 | △210 |
| その他の包括利益合計 | 136 | △887 |
| 四半期包括利益 | 1,217 | △408 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,202 | △384 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 15 | △23 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改訂」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|------------|--------|
| | 印刷インキ | | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,517 | 3 | 23,520 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 21 | 21 |
| 計 | 23,517 | 25 | 23,542 |
| セグメント利益 | 1,170 | 3 | 1,174 |

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,170 |
| 「その他」の区分の利益 | 3 |
| セグメント間取引消去 | 3 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,178 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

印刷インキ事業において、第1四半期連結会計期間から株式会社北陸印刷資材センターの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては9百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|------------|--------|
| | 印刷インキ | | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,729 | 2 | 24,732 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 21 | 21 |
| 計 | 24,729 | 24 | 24,754 |
| セグメント利益 | 372 | 3 | 376 |

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----|
| 報告セグメント計 | 372 |
| 「その他」の区分の利益 | 3 |
| セグメント間取引消去 | 3 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 380 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(企業結合に係る条件付取得対価の会計処理)

(1) 取得原価の当初配分額からの修正内容及び金額

条件付取得対価は、2017年12月31日に行われたRoyal Dutch Printing Ink Factories Van Son B.V.及びその子会社のVan Son Holland Ink Corporation of Americaの取得において、株式譲渡契約に基づき最終取得対価が決定しておらず、暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間において最終取得対価が決定し、払戻額が確定いたしました。

当第2四半期連結会計期間におけるのれんの修正額は次のとおりであります。

| | |
|----------|---------|
| 修正科目 | のれんの修正額 |
| のれん(修正前) | 478百万円 |
| 取得費用の払戻 | △300百万円 |
| 修正金額合計 | △300百万円 |
| のれん(修正後) | 177百万円 |

(2) 償却の方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却